

久著呂・幌呂、温根内・北斗地域での自然再生にかかる

環境省の取組の方向性

1. 久著呂・幌呂地域

(1) 自然環境保全上の問題点・課題

周辺地域からの土砂、栄養塩類の流入による湿原への影響（ハンノキ林の拡大等）（久著呂川、幌呂川等）

残された自然蛇行河川の保全・修復、魚類等の生息環境の維持・改善（チルワツナイ川等）

タンチョウ等生物の生息場所としても重要な湧水群及びその周辺環境の保全・修復（宮島岬・キラコタン岬周辺等）

(2) 取組の方向性

土砂、栄養塩類流入の主な要因、流入経路の解明と流入量軽減のための効果的な対策を検討（関係省庁、自治体等との連携）

その中で湿原と上流農地との間に緩衝地帯（樹林化・湿原化等）を設けることの効果、可能性、優先度の高い場所などを検討（生活・生産活動域からの景観向上の視点を含む）

関連する取組：久著呂川での土砂流入防止対策、幌呂川地区での湿地再生

（北海道開発局・北海道）

重要な自然蛇行河川及びその周辺環境の保全を充実。河床への土砂堆積など、自然環境の質を低下させている要素・要因を洗い出し、その改善方策を検討（関係省庁、自治体等との連携）

重要な湧水群及びその周辺環境の保全を充実。湧水と生物生息状況、湧水と周辺植生・土地利用等との関係を把握するための調査を実施。周辺丘陵地帯の荒廃地や自然性の低い植生など、自然環境の質を低下させている要素・要因を洗い出し、その改善方策を検討（関係省庁、自治体等との連携）

2. 温根内・北斗地域

(1) 自然環境保全上の問題点・課題

市街地、農地等の拡大による湿原域の縮小とそれに伴うキタサンショウウオ、ヤチボウズ等特有の生物生息・生育地の消失（北斗周辺等）

土取場等、丘陵地開発に伴う風景・景観の悪化、生態系の劣化（北斗周辺等）

ハンノキ林拡大や湧水地周辺開発に伴うタンチョウ生息環境の悪化（温根内川、北斗周辺等）

ニホンザリガニのまとまった生息地の保全（丘陵地沿いの湧水）

(2) 取組の方向性

キタサンショウウオ、ヤチボウズ等の分布、生息・生育に必要な環境条件等を把握・分析した上で、保全・再生の優先度の高い場所や効果的な再生・修復手法を検討し、残された生息・生育地の保全と埋め立て放棄地の湿原化による生息・生育地の再生・修復を実施

丘陵地の荒廃地について、景観修復、生態系修復の視点から再生優先度の高い場所、効果的な再生手法を検討し、実施可能な場所から広葉樹林を再生
タンチョウの分布、営巣・ねぐらなど生息・繁殖に必要な環境条件等を把握・分析した上で、生息環境の保全・改善の優先度の高い場所、効果的な手法を検討し、対策を実施

ニホンザリガニの生息と流入小河川や湧水との関係を把握・分析し、それらの水環境を維持・改善するための方策を検討・実施